



Southern Cross 2017



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



6月30日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: info@japaneseschool.wa.edu.au

泥かぶら

校長 吉崎潔

学校法人ノートルダム清心学園理事長だった渡辺和子故人の著書「美しい人に」の中から一部の文章を紹介します。

『真山美保の作品に「泥かぶら」という一人の顔の醜い子どもの話がある。醜いが故に村の人々から嘲(あざけ)られ、子どもたちから石を投げられたり唾をかけられたりした。それを口惜しがっておこる少女の心はますます荒み、顔は醜くなる一方だった。ところがある日のこと、その村に一人の老人が通りかかり、竹の棒を振り回し怒り狂う泥かぶらに向かって、次の三つのことを守れば村一番の美人になると教え、自分はまた旅を続けて行くのであった。その三つのこととは、

- いつもにっこりと笑うこと
- 自分の醜さを恥じないこと
- 人の身になって思うこと

であった。少女の心は激しく動揺するが、美しくなりたい一心でその日から血のにじむような努力がはじめられる。決心は何度も中断され、あきらめようとするが、また気を取り直して始める泥かぶらの顔はいつしか憎しみが去り、その心はおだやかになってゆく。明るく気持ちのよい少女は村の人気者となり、子守にお使いにと重宝がられる者となったのであった。

そんなある日、同年輩の娘が人買いに買われていくのを知った泥かぶらは、喜んで身代わりとなり連れられてゆく。道々たのしげに村の様子を話し、自分がかわいかった村の赤子たちについて語る少女の心はいつか凶暴な人買いの心を動かし始めたのであった。彼は前非(ぜんび)を悔い、置き手紙を残して立ち去ってゆく。その手紙には、「ありがとう。ほとけのように美しい子よ」と書かれてあった。

そしてその時泥かぶらは、かつて旅の老人が約束した言葉を理解したのだった。』

世界の中には、様々な差別や偏見があるという厳しい現実があります。このような課題に向き合い、改善に向け智慧を出し合い、積極的に取り組もうとする行動力が求められています。私たち一人一人がそれぞれに与えら

れた場で、小さなことでも自分に出来ることから取り組んでいくことが大切のように思います。そうすることによって私たちも美しい人に近づくことが出来るのかもしれませんが。

新・転入生説明会

実施日時

7月30日(日) 午前10時開始
(1時間程度)

会場

パース日本人学校

内容

- ①学校見学
- ②校長挨拶
- ③教科学習
- ④学校生活
- ⑤小学部低学年担任の話
- ⑥保護者の話
- ⑦懇談



情報や意見交換の場としていただきましたら幸いです。

お知らせ

冬季休業中の学校への連絡は
平日午前9時～午後3時の間に
お願いいたします。



日曜参観・親子レクありがとうございました

6月11日（日）、日曜参観・親子レクリエーションを行いました。お忙しい中たくさんの保護者の皆さんに来校いただき、ありがとうございました。午前中の授業参観では、小学部については各担任の授業を、中学部については担任と教科担任の授業を参観していただきました。午後からは親子レクリエーション、図書委員会企画の「死んだ魚&天下」、運動保健委員会の「おひっこし&しっぽとり」、PTAの企画の「ジャンケン列車」、どの企画も大変盛り上がりしました。



ふれあい訪問

6月21日（水）、1・2・3年生が、ふれあい訪問で、Ocean Gardenを訪れました。子ども達は、お手玉や輪投げ、けん玉、こま回し等の昔遊びを披露したり、英語で「キラキラ星」「幸せなら手を叩こう」「Walzing Matilda」を元気いっぱい合唱しました。また、高齢者の方々と福笑いをし、英語で遊びを説明したり一緒に遊んだりして、心温まる楽しいひと時を過ごすことができました。



英語科校外学習

6月15日（木）、英語科校外学習として、Caversham Wildlife Parkへ行ってきました。色んな動物たちとふれあい、エサやあげたり、乳搾りをしたりとたくさん楽しい体験ができました。



人工衛星「みちびき」

日本の人工衛星「みちびき3号機」のカウントダウン募集に応募して、子どもたち中心に「プロジェクト200」というチームを発足させて、撮影に臨みました。8月11日、打ち上げの映像に使われる予定です。

JSPよもやま話

今、日本で話題の中学生といえば、将棋の史上最年少棋士藤井聡太四段です。6月21日に連勝記録を「28」とし、歴代連勝記録トップタイとなりました。「28」という数字ですが、これは面白い数字で、“完全数”という数字です。完全数の定義は、「その数字自身を除く約数の和がその数字自身に等しい自然数」です。例えば、6の約数は、1、2、3、6の4つで、6以外の約数の和が、 $1+2+3=6$ となるので、6は完全数になります。28も完全数で、 $1+2+4+7+14=28$ となります。また、完全数は連続した自然数の和で示することができます。具体的には、 $6=1+2+3$ $28=1+2+3+4+5+6+7$ $496=1+2+3+\dots+31$ $8128=1+2+3+\dots+127$ $33550336=1+2+3+\dots+8191$

私たちと完全数の関係を調べてみると、6は「神が世界を6日間で創造した」ことに関係していると言われ、28は「月の公転周期が28日（実際は27.3日）である」ことに関係していると考えられています。496は、宇宙の始まりを解明しようと、相対性理論と素粒子の数式を結びつけようと計算していると、完全数496が現れたそうです。完全数496は古代ギリシア人が天地創造の神の数字としてあがめていた神秘的な数字です。このように、完全数はミステリアスな要素を含み、いくつかの場面で使用されている面白い数字です。

今回の話を通して、少しでも算数・数学に興味・関心をもってもらえると嬉しいです。（福島）

